

福島第一原子力発電所周辺海域における 緊急的なモニタリングの結果について（速報）

（今回公表する項目）

平成27年4月22日の放射性セシウム、全ベータ放射能、トリチウム（南放水口付近（T-2）から採取）

（調査結果の概要）

県は、福島第一原子力発電所K排水路の排水が堰を溢水して港湾外へ流出していたことに伴い、4月22日に緊急的なモニタリングを実施しました。

海水1リットル当たりの濃度は、放射性セシウムが「0.476ベクレル」、全ベータ放射能が「0.10ベクレル」、トリチウム（簡易分析による速報値）が「不検出」であり、全て事故後の福島第一原子力発電所周辺海域モニタリングにおける測定値の範囲内でした。

なお、トリチウムの確定値については分析終了後に別途公表します。

1 海水中の放射性セシウム

採取地点名	放射性セシウム (Bq/L) (セシウム134+セシウム137)	
	4月22日	事故後の測定値の範囲 *1
南放水口付近 (T-2)	0.476	ND～7.4

（注）*1 県が平成25年6月～27年2月に実施したモニタリング結果

2 海水中の全ベータ放射能

採取地点名	全ベータ放射能濃度 (Bq/L)	
	4月22日	事故後の測定値の範囲 *1
南放水口付近 (T-2)	0.10	ND～1.6

（注）*1 県が平成25年6月～27年2月に実施したモニタリング結果
測定法は鉄バリウム共沈法

3 海水中のトリチウム

採取地点名	トリチウム濃度 (Bq/L)	
	4月22日	事故後の測定値の範囲 *1
南放水口付近 (T-2)	ND	ND～6.2

（注）*1 県が平成25年6月～27年2月に実施したモニタリング結果

海水モニタリング地点(福島第一原子力発電所周辺海域)

